第1回法人税法能力検定模擬試験解答用紙 試験場校

1 級

受験	番号			
採	占			

第1問(20点)

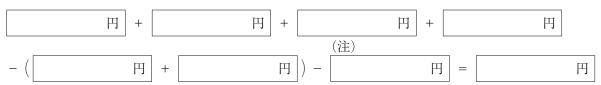
1	口	ハ	Ξ	ホ
^	1	チ	1)	ヌ

第2問(20点)

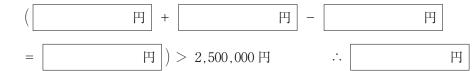
税務調整すべき項目		計	 算	過	程	
役員報酬の損金不算入	1. 法人税法第34条	第1項基準				
	(1) A氏					円
	()					
	(2) B氏					円
	(3) C氏				=	円
	(4) D氏				=	円
	(5) E氏				=	円
	(6) 小 計			_		
	(1) + (2) + (3) + (4) + (5) =	円			
	2. 法人税法第34条	第2項基準				
	(1) 使用人兼務役	員の使用人分賞与		円		
	(2) 上記以外					
	① 実質基準					
	(1) C氏					円
	()					H.
	(口) D氏					円
	(/) 小計					
	(1) + (1)	=	円			

(2)	形式基準

- (イ) 取締役
- ④ 実際支給額



(注) 使用人兼務役員の使用人分



- 回 限度額 円
- ∅ 超過額



- (口) 監査役
- ② 実際支給額



- ① 限度額 円
- 超過額

$$\bigcirc \subseteq \bigcirc \longrightarrow \square$$

(ハ) 小 計

③ 判 定

{いずれかを○で囲む}

(3) 合 計

$$(1) + (2) = \Box$$

3. 総 計

受験番号

第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	X				分		金	額
	当	期		利		益		円
加								
算	/]					計		
減	/1					П		
算	/]	<u></u>				計		
	U.S. C.					計		
	É	計 計	· 総 [計・	差引	<u></u>		
			得			額		

2. 所得金額の計算過程

保険差益の圧縮記域	項目	計	算	追	程
X	保険差益の圧縮記帳				ш
日本行立原文部		② 动红 原 全 页 箱		X L	三 = 円
日本経済の限度額		② 以前休喫並の領			= 円
円 円 円 円 円 円 円 円 円 円		③ 保険差益の額			= 円
(注1) 円			円		
(3) 圧縮積立超差額			H		
(2) 機械装置 D ① 域失経費			円 <	"]	円
① 減失経費 円<			円	円	
円		① 滅失経費	円 —		
(注2)				円	
日本経験では、		● 以前体際並が無			= 円
円 × 円		③ 保険差益の額			= 円
円 円 円 円 円 円 円 円 円 円			円	ш	
(5) 圧縮積立超過額 円 - 円 = 円 減 価 償 却 (1) 工場用建物 C ① 償却限度額 (円 - 円) × 0. × ー = 円			H		
減 価 償 却 (1) 工場用建物 C ① 償却限度額 (円 ー 円) × 0. ×			H > [<u> </u>	<u> </u>
① 償却限度額 (円 - 円)× (0. × 一 円		円 –	円 =	円	
	減 価 償 却				
(2) 償却超過額		`	円) × 0.	×	- = 円
		② 償却超過額			= 円

法 人 税 法 1 級

受験番号

	(2) 機械装置 D
	① 償却限度額 (円 – 円)× 0. × — 円
	② 償却超過額
個別評価金銭債権	(1) 繰入限度額
に係る貸倒引当金	三 円
	(2) 繰入超過額
	= 円
一括評価金銭債権 に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 ① 期末評価金銭債権の額
	② 実質的に債権とみられないものの額 (イ) 原則法
	A. 債権の額 円 円
	B. 債務の額 円 円
	C. 判 定
	A < B ··· 円
	{いずれかを○で囲む}
	(ロ) 簡便法 円 × 0. (小数点以下 位未満切り 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円
	(ハ) 判 定
	(イ) < (ロ) 円
	{いずれかを○で囲む}
	③ 実績繰入率
	×
	$\frac{}{\div} = 0.$
	(小数点以下
	⑤ 繰入限度額
	(イ) 実績繰入率による繰入限度額 III × 0 III III III III III III III III
	$ H \times 0.$ $ H \times 0.$

		(ロ) 法定繰入率による繰入限度額(円 ー 円) × 0.
		(/) 判 定 (/) : 円
		{いずれかを○で囲む}
	(2)	繰入超過額 円 円 円 円
同業者団体加入金	(1)	償却限度額 ケ月 田 ×
	(2)	[中

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人	说 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税額			円 未満切り	
中!	間 申 告 分	の法人和					
納	付すべき	き法人	 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

(1)	年 800 万円以下						
		円	× -	 - ×	%	=	円

(2) 年 800 万円超

(円	-	円×	< <u> </u>	-) ×	%	=	1	円

(3) 合 計

第2回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

1 級

受験	番号			
採	点			

試験場校

第1問(20点)

1	П	ハ	Ξ	ホ
^	<u>۲</u>	チ	1)	ヌ

第2問(20点)

- 1. 受取配当等の額
- (1) 関連法人株式等
- 円
- (2) その他の株式等
- 円
- (3) 非支配目的株式等
- 円
- 2. 控除負債利子
- 円
- 3. 益金不算入額

(円 –	円)+	円 × <u></u>
+ 円 × -	= 円	

第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	X			分	金	額
	当	期	利	益		円
加						
<i>\$</i> -\$-						
算						
	小			計		
	/1.			н		
減						
算						
	小			計		
	仮			計		
	合	計·総	計 · 差	音 計		
	所	得	金	額		

法 人 税 法 1 級

受験番号

2. 所得金額の計算過程

項目	計	算 過	程
収用等の特別控除額	(1) 譲渡益 ① 譲渡経費		
	円 -	円 円	
	② 譲渡益		
	円]-(円 + 円) =	円
	(2) 控除限度額		
	円		
	(3) 特別控除額		
	円 <	円 : 円	
国庫補助金等の圧縮記帳	1. 国庫補助金等		
の 圧 縮 記 帳	(1) 圧縮限度額 円 >	円 : 円	
	(2) 圧縮超過額 円 -	円 = 円	
		11	
	(3) 償却限度額		- = 円
	(円 –	円) × [0. x] × []	[7]
	(4) 償却超過額		ш
	(円 +	円]) - 円] = [円
	2. 圧縮特別勘定		
	(1) 繰入限度額 円 -	円 = 円	
	(2) 繰入超過額 円 -	円 = 円	
N fre OK In			
減 価 償 却	1. 建物 A (1) 償却限度額		
	円 × 0.9 × 0.	= 円	
	(2) 償却超過額		
	円 -	円 円 円	
	2. 車両		
	(1) 償却限度額		
	円 × 0.	(円	

	(2) 償却超過額 円 - 円 = 円
	3. 備品 (1) 償却限度額 (円 + 円 + 円) × 0.
	(2) 認容額 円 ー 円 = 円 (>) 円
貸倒損失額	
個別評価金銭債権に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 = 円
	(2) 繰入超過額 円 ー 円 円 円
一括評価金銭債権 に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 ① 期末評価金銭債権の額
	一
	② 実質的に債権とみられないものの額
	③ 実績繰入率 ×
	・
	⑤ 繰入限度額(イ) 実績繰入率による繰入限度額
	円 × 0. 円 (口) 法定繰入率による繰入限度額 (円

法 人 税 法 1 級

受験番号

	(ハ) 判 定
	(イ) < (ロ) 円
	(2) 繰入超過額
	円一円=円
交際費等の 損金不算入額	
	① 飲食費
	② その他
	③ ① + ② = 円
	(2) 定額控除限度額
	円 × <u> </u>
	(3) 損金算入限度額
	円 × % = 円 < 円 > 円
	∴ 円 (いずれかを○で囲む)
	(4) 損金不算入額
	円一円円円

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人	总 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税 額			円 未満切り	
中!	間 申 告 分	の法人和	说 額				
納	付すべき	法 人 利	兑 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1) 年 <i>800</i> 万円以下 円 × × % = 円
	(2) 年 <i>800</i> 万円超 円 ー 円 × <u> </u> 円
	円 × % = 円
	(3) 合 計 (1) + (2) = 円

第3回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

級

試験場校

採 点

第1問(20点)

1	П	ハ	=	ホ
^	7	チ	1]	ヌ

第2問(20点)

1. 資料(1)から(3)までの金額のうち税務上当期の交際費等に該当するものには○印を, 該当しないものには × 印を下記解答欄の のなかに記入しなさい。

(1) Ø ①	(1) Ø ②	(1) Ø ③	(1) Ø 4	(1) Ø ⑤	(1) Ø 6	(1) Ø 7	(1) Ø (8)	(2)	(3)

- 2. 交際費等の損金不算入額の計算
- (1) 支出交際費等の額

(1)	飲食費	円

② その他

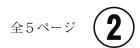
=	
	'7

(2) 定額控除限度額

(3) 損金算入限度額

(4) 損金不算入額

3. 土地取得価額減額



第3問(60点)

1. 所得金額の計算

		区							分			金	額	
	当		期			ź	利			益				円
加														
算														
		小								計				
. 1 4.														
減														
经														
算		小								計				
		仮								計				
		合	計	•	総	計	•	差	引	計				
		所								額				

法 人 税 法 1 級

受験番号

2. 所得金額の計算過程

項目	計 程
受取配当等の	(1) 受取配当等の額
益金不算入額	① 関連法人株式等 円
	② 非支配目的株式等 円
	(2) 控除負債利子 円
	(3) 益金不算入額
	(円 - 円) + 円 × <u> </u>
交換差益の圧縮記帳	(1) 土 地
	① 判定
	(1) 円 一 円 円
	$(\Box) \qquad \qquad \Box \qquad \times \qquad \qquad \% \qquad = \qquad \qquad \Box$
	(′) 円 ≦ 円 ∴ 圧縮記帳の適用 (あり ・ なし)
	② 経費 (いずれかを○で囲む)
	円 × 円 円 円
	③ 圧縮限度額
	円 - (円 + 円)
	× <u>円</u> = 円
	円 + 円
	④ 圧縮超過額 円 - 円 = 円
	(2) 建 物
	① 判定
	(1) 円 一 円 円 円
	$(\Box) \qquad \qquad \Box \qquad \times \qquad \qquad \% \qquad = \qquad \Box \qquad \qquad \Box$
	(′) 円 ≦ 円 ∴ 圧縮記帳の適用 (あり ・ なし)
	② 経費 (いずれかを○で囲む)
	円 × <u>円</u> = 円
	③ 圧縮限度額
	円 - (円 + 円 + 円)
	= 円

	④ 圧縮超過額 円 ー 円 = 円	
	⑤ 償却限度額 = 円	
	⑥ 償却超過額□ 円	
減 価 償 却	(1) 備品 A	
	① 償却限度額 = 円	
	② 償却不足額 = 円	
	③ 認容額 : 円	
	(2) 備品 B ① 償却限度額	
	三 円	
	② 償却超過額 = 円	
法 人 税 額 か ら 控除される所得税額	(1) 株式・出資 {	
	(A株式) (B株式) (D. (B株式) (小数点以下 位未満切り	
	(2) その他	
	(3) 合計 (1) + (2) = 円	

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人移	名 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税額			円 未満切り	
中「	間 申 告 分	の法人和	说 額				
納	付すべき	: 法 人 移	色 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1) 年 800 万円以下 円 ×
	(2) 年 <i>800</i> 万円超 円 - 円 ×
	円 × % = 円
	(3) 合 計 (1) + (2) = 円

第4回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

1 級

受験番号 採 点

試験場校

第1問(20点)

1	口	ハ	Ξ	ホ
^	<u>۲</u>	チ	1)	ヌ

第2問(20点)

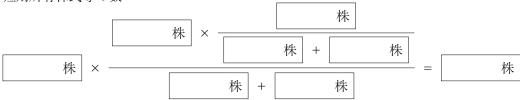
- 1. 受取配当等の額
- (1) 関連法人株式等

一 円 円

(短期所有株式等)

- (注) 短期所有株式等
- ① A株式の配当等の計算期間末日現在の所有株式数

② 短期所有株式等の数

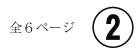


③ 短期所有株式等に係る配当等の額



- (2) その他の株式等 円
- 2. 控除負債利子 円
- 3. 益金不算入額





第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	区				分		金	額
	当	期		利		益		円
加								
)JII								
算								
//								
	小					計		
減								
算								
	小					計		
	仮					計		
	合			計 •				
	所		得	金		額		

受験番号

2. 所得金額の計算過程

項目			計	算	過		程	
保険差益の圧縮記帳		場用建物 F 滅失経費					円	
) × -		円 =	円
	2	改訂保険金の額	額				1 1	
							=	円
	3	保険差益の額						
							=	円
	4	圧縮限度額	(注1)					
			円 ×	円 円 = [円		
		(注1)	円	<	円	∴ <u> </u>	円	
	(5)	圧縮超過額						
			円 –	円 =		円		
	6	償却限度額						
							=	円
	7	償却超過額						
							=	円
		械装置G						
		滅失経費	円 ×	円 = [円		
				円				
	2	改訂保険金の額	額					ш
		/E BA 3/13/ - 455						円
	3	保険差益の額						円
	4	圧縮限度額	(24.0)					
			(注2)	円				
			円×	= [円		
		(注2)	円	<	円	∴ <u> </u>	円	
	(5)	圧縮超過額						
			円 -	円 =		円		

	⑥ 償却限度額 (イ) 普通償却限度額	
		= 円
	(ロ) 特別償却限度額	
		三 円
	(イ) 合 計	
	円 + 円 = 円	
	⑦ 償却超過額	
		三 円
保 険 差 益 の 圧 縮 特 別 勘 定	(1) 滅失経費 円	
	(2) 改訂保険金等の額 円	
	(3) 保険差益の額 円	
	(4) 繰入限度額 (注)	
	円 × 円 円	
	(注) ① 円	
	② 円 - 円 = 円	
	③ ① > ② … 円	
	(いずれかを○で囲む)	
	(5) 繰入超過額	
		= 円
返品調整引当金	(1) 返品率	
		= 0.
		5.
	(2) 売買利益率	
		= 0.

法 人 税 法 1 級

受験番号

	(3) 繰入限度額 ① 売掛金基準
	② 売上高基準
	E 円 円
	③ ① ~ ② 円
	(いずれかを○で囲む)
	(4) 繰入超過額 円 - 円 = 円
広告宣伝用資産	
	年 × <u> </u>
	(2) 償却限度額 円 × = 円
	年 × 月
	(3) 償却超過額 円 - 円 = 円
交際費等の損金不算入額	
	三 円
	② その他
	③ ① + ② = 円
	(2) 定額控除限度額
	円 × <u> </u>
	(3) 損金算入限度額
	円 × % = 円 < 円 > 円
	∴ 円 (いずれかを○で囲む)
	(4) 損金不算入額
	円一円円

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人	兑 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税 額			円 未満切り	
中!	間 申 告 分	の法人	税 額				
納	付すべき	き 法 人 和	兑 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1) 年 800 万円以下 円 ×
	(2) 年 <i>800</i> 万円超 円 - 円 × 一 円
	(3) 合計
	$(1) + (2) = \boxed{\square}$

第5回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

1 級

試験	場校			
受験	番号			
採	占			

44	4	日日	(20	上、
弗	1	Ш	-(ZO)	\Box

1	П	ハ	Ξ	ホ
^	}	チ	1]	ヌ

第2	問	(20点
赤乙	미	(20,11

2. 個別評価金銭債権に係る貸倒引当金

(1) 繰入限度額	円

(2) 繰入超過額

=	円

- 3. 一括評価金銭債権に係る貸倒引当金
- (1) 繰入限度額
 - ① 期末一括評価金銭債権の額

=	円

- ② 実質的に債権とみられないものの額
 - (イ) 原則法

C. 判 定

(いずれかを○で囲む)

四 簡便法

(ハ) 判 定

(いずれかを○で囲む)

4. 貸倒引当金繰入超過額認容

	実績繰入率
	x
	$\div \qquad \qquad = \boxed{0.}$
(4	法定繰入率 0.010 (小数点以下 位未満切り (小数点以下 位未満切り (小数点以下)
(繰入限度額
	(1) 実績繰入率による繰入限度額 円 × 0. 円
	(ロ) 法定繰入率による繰入限度額 (円 円 円) × 0. 円 円
	(ハ) 判 定 (イ) < (ロ) 円
	(いずれかを○で囲む)
(2)	繰入超過額 円 - 円 = 円 円

円

受験番号

第3問(60点)

1. 所得金額の計算

X			分	金	額	うち留保金額
当	期	利	益		円	円
力	`		計			
力	`		計			
1	瓦		計			
/	計・ 総	計・差	引計			
	当 /	当 期	当 期 利 小	当 期 利 益 小 計	当 期 利 益 小 計 仮 計 合 計・総 計・差 引 計	当 期 利 益 円

2. 所得金額の計算過程

項目	計 第 過 程
受取配当等の益金不算入額	(1) 受取配当等の額 ① 関連法人株式等
	② 非支配目的株式等
	(2) 控除負債利子 円
	(3) 益金不算入額 (円 - 円)+ 円 × 一
	= 円
損金の額に算入した 住 民 税 利 子 割 額	
交換差益の圧縮記帳	 土地 判定
	(1) 円 一 円 円
	(ロ) 円 × % = 円
	(ハ) 円 ≦ 円 ∴圧縮記帳の適用(あり・なし) (該当するものを○で囲むこと)
	② 経費 円 × 円 = 円
	③ 圧縮限度額 円 - (円 + 円)
	円 円
	× <u>円</u> + 円
	④ 圧縮超過額
	円 一 円 円
	(2) 建物 ① 判定
	(1) 円 – 円 円
	(ロ) 円 ×
	(ハ 円 ≦ 円 ∴圧縮記帳の適用(あり・なし) (該当するものを○で囲むこと)

法 人 税 法 1 級

受験番号

	② 経費		
	円 × 円 円 円		
	③ 圧縮限度額		
	円 - (円 + 円 +	円)	
	= 円		
	④ 圧縮超過額円 円 円 円		
	⑤ 償却限度額		
		=	円
	⑥ 償却超過額		ш
		=	円
繰 延 資 産	(1) 償却期間 年 < 年 ∴ 年		
	(2) 償却限度額		
	(3) 償却超過額		
		=	円
個別評価金銭債権	(1) 繰入限度額		
に係る貸倒引当金		=	円
	(2) 繰入超過額		
	円一円円		
一括評価金銭債権 に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 ① 期末評価金銭債権の額		
		=	円
	② 実績繰入率		
	×		
	÷	- = 0.	
	(小数点以下	位未満切り)
	③ 法定繰入率 0.		

4	繰入	限度額
(-)	1212	

(イ) 実績繰入率による繰入限度額

(ロ) 法定繰入率による繰入限度額

(ハ) 判 定

(いずれかを○で囲む)

(2) 繰入超過額

法 人 税 額 か ら 控除される所得税額

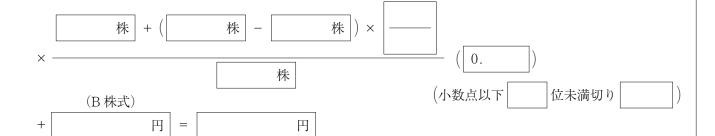
(1) 株式出資

① 個別法

$$(A株式 \cdot 確定)$$
 $(A株式 \cdot 中間)$ $(A株式 \cdot 中間)$

$$\times$$
 $\frac{12}{12}$ $(1.000) =$ 円 (小数点以下 位未満切り 一)

② 簡便法



(2) その他

(3) 合 計

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人	说 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税額			円 未満切り	
中「	間 申 告 分	の法人和	说 額				
納	付すべ	き法人	短 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1) 年 800 万円以下
	円 ×
	(2) 年 800 万円超
	円 - 円 × <u>円</u>
	円 ×
	(3) 合 計 (1) + (2) = 円

第6回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

試験場校

1	級
	NVV

 受験番号

 採
 点

第1問(20点)

1	П	ハ	=	ホ
^	F	チ	1]	ヌ

第2問(20点)

- 1. 倉庫用建物
 - (1) 償却限度額
 - ① 従前部分

	=	円
--	---	---

② 資本的支出部分

	=	円
--	---	---

③ 合 計

(2) 償却超過額

_	H
=	H
	, ,

- 2. 機械装置
- (1) 資本的支出額
 - ① 使用可能期間延長額



② 価値増加額

③ 判 定

{いずれかを○で囲む}

(2)	價却限度額

① 従前部分

= 円

② 資本的支出部分

③ 合 計

(3) 償却超過額



3. 車両運搬具

(1) 経済的利益

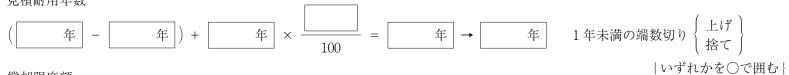


(2) 償却限度額

(3) 償却超過額

4. 応接セット

(1) 見積耐用年数



(2) 償却限度額

(3) 償却超過額

受験番号

第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	区			分	金	額
	当	期	利	益		円
1 111						
加						
<i>\$</i> -\$-						
算						
	小			計		
減						
算						
				~1		
	小			計		
	仮			計		
		計 ・ ※	· 計·			
	所			額		
	//1			72.1		

2. 所得金額の計算過程

項目	計	算	過	程	
個別評価金銭債権に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額			=	円
	(2) 繰入超過額			=	円
一括評価金銭債権に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 ① 期末評価金銭債権の額			=	円
	② 実質的に債権と見られな (イ) 原則法 A. 債権の額 B. 債務の額 C. 判 定	いものの額			円
	A > B < Wずれかを○で囲(ロ) 簡便法 円 × (ハ) 判 定 (ハ) マロ (ロ) (ロ) < (ロ)		下 位未満切り 円) =	円
	{いずれかを○で囲む ③ 実績繰入率 ④ 法定繰入率 0.010 ⑤ 繰入限度額 (イ) 実績繰入率による繰入 円 つ 法定繰入率による繰入	限度額 × 0. =	X - ÷ (小数点以 -	= 0. 下 位未満切り 円	

	(2) 判定	
	(イ) < (ロ) 円	
	{いずれかを○で囲む}	
	(2) 繰入超過額	
	円一円円	
買換えの圧縮記帳	(1) 譲渡経費	
	(2) 差益割合	
		= (0.)
	円	– ([0.
	(3) 圧縮基礎取得価額 ① 土地	
		円
	② 倉庫用建物	
		∴ 円
	(4) 圧縮限度額	
	① 土地	
	円 × 0.	
	② 倉庫用建物 円 × 0. × % = 円	
	(5) 圧縮超過額 ① 土地	
		= 円
	② 倉庫用建物	
		= 円
減 価 償 却	(1) 倉庫用建物	
	① 償却限度額	
		三 円
	② 償却超過額	
		= 円
	(2) 器具備品 ① 償却限度額	
		= 円

	② 償却超過額
交際費等の	(1) 支出交際費等の金額
損金不算入額	① 飲食費
	② その他
	③ ① + ② = 円
	(2) 定額控除限度額
	円 × 円
	(3) 損金算入限度額
	円 × % = 円 < 円
	∴ 円 (いずれかを○で囲む)
	(4) 損金不算入額
	円 - 円 = 円
寄 附 金 の	(1) 支出寄附金の額
損 金 不 算 入 額	① 指定寄附金等
	② 特定公益増進法人に対する寄附金
	③ その他の寄附金
	④ 合 計
	① + ② + ③ = 円
	(2) 寄附金支出前所得金額
	円 + 円 = 円
	(3) 損金算入限度額
	① 資本基準額 円 × = 円
	円 × 一 円
	② 所得基準額
	円 × <u> </u> = 円
	③ 損金算入限度額
	(円 + 円) × <u>円</u>

法 人 税 法 1 級

受験番号

(4	4) 特別損金算入限度額 ① 資本基準額 円 ×
	② 所得基準額 円 ×
	③ 特別損金算入限度額 (円 + 円)× 円
(5	円 円 円 円 円
	(注) 円 > 円 ∴ 円

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
課	税 使 途 秘	匿金支出	1 額				
同	上に対	する税	額			円 × %	= 円
法	人	兑 額	計				
控	除	税	額				
差;	引所得に対	する法人を	兑 額			円 未満切り	
中	間申告分	の法人税	色額				
納	付すべき	き法人税	額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1) 年 <i>800</i> 万円以下 円 ×
	(2) 年 <i>800</i> 万円超 円 - 円 × <u>円</u> = 円
	円 × % = 円
	(3) 合 計 (1) + (2) = 円

第7回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

1 級

試験場校受験番号採 点

第1問(20点)

1	口	ハ	Ξ	ホ
^	1	チ	1)	ヌ

第2問(20点)

1. 資料(1)から(4)までの金額のうち税務上当期の交際費等に該当するものには○印を、該当しないものには × 印を下記解答欄の のなかに記入しなさい。

(1) ①	(1)②	(1)③	(1) 4	(1) ⑤	(1) ⑥	(1) ⑦	(2) ①	(2) ②	(2) ③	(3)	(4)

- 2. 交際費等の損金不算入額の計算
- (1) 支出交際費等の額

① 飲食費	=	円

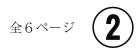
② その他

(2) 定額控除限度額

(3) 損金算入限度額

(4) 損金不算入額

3. 土地取得価額減額



第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	区				分		金	額
	当	期	₹			益		円
1								
加								
算								
	小					計		
減								
1/24								
算	ı,					크1.		
	小仮					計 計		
	仮					計		
	Δ.	計 .	総計	•	美 引	<u></u>		
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			額		
	ולו	1	য	亚		11八		

法 人 税 法 1 級

受験番号

2. 所得金額の計算過程

項目	計算過程
収用等の圧縮記帳	(1) 譲渡経費
	円一円円
	(2) 差引対価補償金
	円 一 円 円
	(3) 差益割合
	円 - (円 + 円)
	円 円
	(4) 圧縮基礎取得価額
	円
	{いずれかを○で囲む}
	(5) 圧縮限度額
	円 × 0. 円
	(6) 圧縮超過額
	円一円円円
収用等の圧縮特別勘定	(1) 圧縮基礎取得価額
	円 一 円 円
	(2) 繰入限度額
	円 × 0. 円
	(3) 繰入超過額
	円一円円円円
減 価 償 却	1. 機械装置 C (1) 償却限度額
	① 繰越特別償却不足額
	円
	② 普通償却限度額
	(円 + 円 - 円)× 0.
	③ 合 計 ① + ② = 円
	(2) 償却超過額
	円一円円

2. 機械装置D

- (1) 償却限度額
 - ① 特別償却限度額

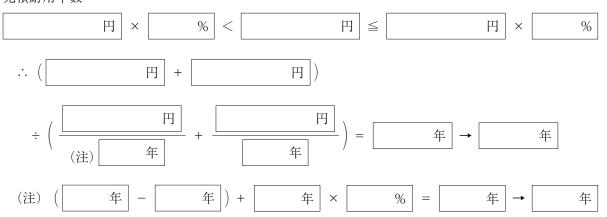
② 普通償却限度額

円	×	0.	×	 =	円
			J		

③ 合 計

(2) 償却超過額

- 3. 車両運搬具
- (1) 見積耐用年数



(2) 償却限度額

(3) 償却超過額

- 4. 備 品
- (1) 償却限度額

(いずれかを○で囲む)

(2) 償却超過額

返品調整引当金	(1) 返品率(割りきれない場合には、小数点以下第2位未満の端数を切捨てる)	
		= 0.
	(2) 売買利益率 ((1)と同様)	
		= 0.
	(3) 繰入限度額 ① 売掛金基準	
		= 円
	② 売上高基準	
		= 円
	③ ① ~ ② 円	
	{いずれかを○で囲む}	
	(4) 繰入超過額	
	円 - 円 = 円	
広告宣伝用資産	(1) 償却期間	
	年 × 年 ← 年 ← 年 ← 年	年
	(2) 償却限度額 月	
	円 × 年 × 月 = 円	
	(3) 償却超過額	
	円 – 円 = 円	
交際費等の	(1) 支出交際費等の金額	
損金不算入額		= 円
	(2) 定額控除限度額	_
	円 × 一 円	
	(3) 損金算入限度額	
	円 × % = 円 <	円
	∴ 円 (いずれかを○で囲む)	
	(4) 損金不算入額	
	円一円	

3. 納付すべき法人税額の計算

	摘	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差	引 法	人 税	額				
法	人	说 額	計				
控	除	税	額				
差引	所得に対	する法人	税額			円 未満切り	
中「	間 申 告 分	の法人和	说 額				
納	付すべき	き法人移	党 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

税率適用区分	(1)	年 <i>800</i> 万円以下 円 ×
	(2)	年 <i>800</i> 万円超 円 - 円 ×
		円 × % = 円
	(3)	合 計 (1) + (2) = 円

第8回法人税法能力検定模擬試験解答用紙

1 級

受験	番号		
採	点		

試験場校

44	4	日日	(20	上,
弗	1	Ш	-(ZO)	\Box

1	П	ハ	Ξ	ホ
^	١	チ	1)	ヌ

第2問	(20点)
-----	-------

- 1. 事務所用建物
- (1) 償却限度額

三 円

(2) 償却超過額

= 円

- 2. 事務所用建物避難階段
 - (1) 償却限度額

三 円

(3) 償却超過額

三 円

- 3. 機械装置
- (1) 資本的支出額
 - ① 使用可能期間延長額

② 価値増加額

③ 判 定

(いずれかを○で囲む)

- (2) 償却限度額
 - ① 従前部分

= 円

2	資本的支出部分		
		=	円
3	合 計 ① + ② = 円		
(3)	掌却超過額		
		=	円
4. 車両	可運搬具		
(1) 们	賞却限度額		
1	調整前償却額		
		=	円
2	償却保証額		
		=	円
3	≥ ① ② ∴ 改定償却率により計算する。 <		
	(いずれかを○で囲む)		
4	改定償却率による償却限度額		
		=	円
(2) f	賞却超過額		
Г			

受験番号

第3問(60点)

1. 所得金額の計算

	X				,	分	金	額	
	当	期		利		益			円
Lo									
加									
算									
	1.					⇒1.			
	小					計			
減									
算									
	小					計			
	仮					計			
	合	計	· 総	計・	差	引 計			
	所		得	金		額			

2. 所得金額の計算過程

項目	計 程
個別評価金銭債権に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額
1- W - X - 1 1 1 - 1	= 円
	(2) 繰入超過額
	三 円
一括評価金銭債権 に係る貸倒引当金	(1) 繰入限度額 ① 期末一括評価金銭債権の額
	= 円
	② 実質的に債権と見られないものの額 (イ) 原則法
	A. 債権の額
	B. 債務の額 = 円
	C. 判 定
	A. B. ·· · · · · · · · · · · · · · · · ·
	(いずれかを○で囲む)
	(ロ) 簡便法 円 × 0. (小数点以下 位未満切り) = 円
	(八) 判定
	(イ) (ロ) 円
	(いずれかを○で囲む)
	③ 実績繰入率
	×
	\div $=$ $0.$
	(小数点以下 位未満切り)
	④ 法定繰入率 0.010
	⑤ 繰入限度額 (イ) 実績繰入率による繰入限度額
	円 × 0. 円
	(ロ) 法定繰入率による繰入限度額 (「
	(円 一 円) × 0. 円

	(水) 判 定
	(1) (口) 円
	(いずれかを○で囲む)
	(2) 繰入超過額
	円一円一円
収用等の圧縮記帳	(1) 譲渡経費
从	
	(a) 英丑特伍按條人
	(2) 差引対価補償金 = 円
	(3) 差益割合
	円
	(4) 圧縮基礎取得価額
	① 土 地
	円
	② 倉庫用建物
	(5) 圧縮限度額
	① 土 地
	\square \times \square \square \square \square \square \square
	② 倉庫用建物
	$oxed{eta} imes oxed{eta} imes oxed{eta} = oxed{eta} oxed{eta}$
	(6) 圧縮超過額 ① 土 地
	② 倉庫用建物
	三 円
	(7) 償却限度額
	三 円
	(8) 償却超過額
	三 円

交	際	星	劃	等	0)
指	金	不	筫	入	額

- (1) 支出交際費等の額
- ① 飲食費

	h
=	
-	
I	

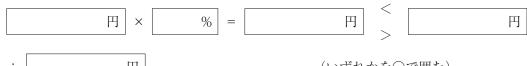
② その他

	l m
-	

(2) 定額控除限度額



(3) 損金算入限度額



(いずれかを○で囲む)

(4) 損金不算入額



寄 附 金 の (1) 支出寄附金の額 損金不算入額

- ① 指定寄附金等

③ その他の寄附金

② 特定公益増進法人に対する寄附金

④ 合 計

(2) 寄附金支出前所得金額



- (3) 損金算入限度額
- ① 資本基準額



② 所得基準額



③ 損金算入限度額



法 人 税 法 1 級

受験番号

(4	(1) 資本基準額 円 ×
	② 所得基準額 円 ×
	③ 特別損金算入限度額
	(円 + 円) ×
(5) 損金不算入額 (注)
	円 - 円 - 円 - 円
	= 円
	(注) 円 > 円 : 円

3. 納付すべき法人税額の計算

才	商	要		金	額	備	考
所	得	金	額		円	円 未満切り	
法	人	税	額				
差。	法	人 税	額				
課税(吏 途 秘	匿 金 支	出額				
同 上	に対	する核	色 額			円×	%] = 円
法	人 税	額	計				
控	除	税	額				
差引所	得に対	する法人	税 額			円 未満切り	
中間日	申 告 分	の法人	税 額				
納付	すべき	法人和	兑 額				

4. 納付すべき法人税額の計算過程

